

1. 件名:「日立造船(株) 特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【6】」

2. 日時: 令和4年1月31日 13時30分~15時20分

3. 場所: 原子力規制庁 9階C会議室

4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁:

(新基準適合性審査チーム)

止野安全管理調査官、高橋管理官補佐、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官

(核燃料施設審査部門)

甫出主任安全審査官

日立造船株式会社

機械・インフラ事業本部 原子力機器事業推進室 主席技師 他2名※及び担当者4名

5. 要旨

(1) 日立造船株式会社(以下「日立造船」という。)から、令和3年9月16日に申請があった発電用原子炉施設における特定兼用キャスクの型式証明について、本日のヒアリングにおいて提出のあった資料に基づき、説明があった。

(2) これに対し、原子力規制庁は事実確認等を行い、臨界防止機能評価及び除熱機能評価に適用する評価方法等に関する許認可等実績範囲の整理を求めるとともに、今後も引き続き、申請内容を確認することとした。

(3) 日立造船から、了解した旨回答があった。

なお、本面談については、日立造船から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」(令和3年10月6日 第36回原子力規制委員会 配付資料1)を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料:

資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について(第十六条関連)

以上